

JOES Davos Next 2023

~ GLOBAL STUDENT SUMMIT ~

Davos Next 2023への道



インタビュー JOES 理事長 綿引宏行

ることもあるアフリカで起きてい
る諸問題は、日本や世界各地にも
いずれ影響します。アフリカは地
球の命運を握っているのです。
また、西欧の植民地だったアフ
リカは、言語や文化の面でもじつ
に多様です。JOES Davos Next
のねらいの一つが「日本人は多様
性や多文化が少々苦手。だからこ
そ未来を担う日本の子どもたちに
デイスカッションと学び合いの場
を提供したい」でした。ですから
ぜひアフリカの子どもたちを迎え
たいと思ったのです。

今年のアフリカの子どもたちも
参加するとお聞きしています。
はい、基調講演だけでなくディ
スカッションにも参加を呼びかけ
ています。昨年、活発に話し合っ
ている英語グループの様子を見て
いて、ここにアフリカの子たちが
参加したらいい議論ができると確
信しました。アフリカとヨーロッ
パには時差もほとんどないし、オ
ンラインなのでほかの地域の子だ
って参加は可能です。

今年のアフリカの子どもたちも
参加するとお聞きしています。

今年のテーマは環境問題、特
に海にフォーカスしています。

地球上に住む生物を重さで表す
と、その九割が海にいるそうです。
海から離れた内陸部にも川があり、
雨が降るので、無縁ではありません
。その生命の宝庫の海は環境問
題で現在、危機的状況です。
食糧問題も深刻です。地球の人
口限度は八十億人といわれていま
すが、すでにその数字を超えてし
まっているのです。

もう一つ、アフリカ沿岸の魚は
日本の漁船が獲っていて、地元の
人の口に入るのがなかなか難しい
そうです。漁業権と地元の食糧問
題をサステナブルに解決する方法
を考える必要があります。

そんなことを考えていたところ
に、阪口先生に出会いました。海
洋政策の世界の第一人者である
とともに子どもたちへの教育にも熱
心。基調講演の講師は、この先生
しかないと思いました。

グループデイスカッションの
テーマは「ルールンバ」ですね。

環境問題の課題は山積みなのに、
解決策が見つからない。せっかく
ルールをつくっても、大人たちが
破ってしまう。そんなことが繰り
返されています。盛んにいわれて
いるカーボンニュートラルだって、
目途とする二〇五〇年には、いま
それを唱えている人はもう現役で
はないでしょう。だったら、その
ときに中心的役割を果たす未来世
代に、自分たちが守れるルールを
考えてもらうことが重要だと思っ
ています。私たちがいまでできるこ
とは、子どもたちと問題意識を共
有し、材料を提供し、デイスカッ
ションする場をつくり、大人も考
察することなんです。

基調講演は日本時間の夕方から
の開催です。オンデマンド配信も
ありますので、今回は保護者の皆
さんにも視聴してもらいたいと思
っています。環境問題に対してど
ういう行動を起こすのか。難しく
大きなテーマだからこそ、ぜひ家
族みんなで考えてほしいのです。

JOES Davos Next 2023には、昨
年と違う点がいくつかあります。基
調講演、グループワークと交流会の三
部構成で世界中をオンラインでつな
ぐという大きな枠組みは変わりませ
んが、そこには二回目ならではの、そ
して未来を見据えた工夫が凝らされ
ています。まず、アフリカの子どもた
ちが参加すること、その子どもたちも
含めてできるだけ多くの地域の子ど
もたちがライブで参加できる時間帯
に基調講演を設定したこと、そして、
テーマが環境問題であること……。

生みの親としてプロジェクトを強
力に推進してきたJOESの綿引宏
行理事長に、そのねらいと将来の構想
について聞きました。

(只木良枝)

JOES Davos Nextを、全世界の
子どもたちが参加するイベントに
育てるのが私の夢です。今回はそ
の第一歩になりますね。

なぜアフリカなのでしょっつ。

「最後のフロンティア」と呼ばれ